

社会新報

社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)
〒106-8902 東京都千代田区永田町1-8-1
電話代表03(3580)171 携帯03140-1-3203
■定期180円 ■1ヶ月200円 ■海外160円

社会民主党いすみ総支部
いすみ市若山586 TEL 62-4809 FAX 62-3600



いすみ市議会議員

あらい正の 議会報告

あけましておめでとうございます。

は寒くなるばかり、消費税率の引き上げ分は全額社会保障に充てると言っていたのに、いつのまにか、法人税減税にまわり、昨年10月から年金は切り下されられ、今後70歳以上の医療費の値上げ、介護保険の軽度者のサービスを引き下げる見直しが社会保障改革国

民会議（国民の代表ではない）の報告がこれから具体的になります。

さらに、昨年末には特定秘密保護法が強行採決されました。そして武器輸出3原則が廃止されようとしています。歴代自民党の首相にはノーベル平和賞をもらった人もいます。

最後の一年となりました。改めて、一人一人の声を政治に反映させる取り組みを強め、住みよいすみ市にするために今年も努力していきたいと思います。今年もよろしくお願い致します。

新年明けまして
おめでとうござります

市民との協働・市民参加の市政へ 個人市民税の5%を 市民提案予算枠にしては

市民が主人公になつて

地域課題の解決に

平成12年に地方分権一括法、平成23年8月23日に「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」が成立しました。

ましたが、市と市民の関係はどうでしょうか、まだまだ行政は「お上」の仕事になつていいでしょうか。地域の自主性や、自立性を高めるには、市と市民の協働が不可欠です。

市は税金を納めている市民が主人公であり、自分の住む町を住みやすくするために、

業」について3年前の議会で取り上げましたが、改めていすみ市の個人市民税の5%程度を活用して、事業化してはどうでしょうか。愛知県の高浜市では平成22年から実施しています。

さかもしません。市内12の小学校区にこの財源を分けるとそれぞれ六二五万円程度ですが、実施すること、続けることで自分の街を自分たちの手で作っていく意識が生まれてきます。これこそが「地域の自主性や自立性を高める」取り組みだと確信しています。3年前に取り上げたあと

円を越えました。今回は愛知県高浜市の例にならって、市民税の5%の財源を活用してはどうかと質問しました。剩余金の10%程度の財源で出来ることです。市民の発想、提案をもっと柔軟に取り入れる、そういうリーダーシップを太田市長3期目の市政に期待したい。

12月1日に実施された市長選挙は無投票で太田市長が再選され、同時に行われた、議会補欠選挙では久我司氏が当選しました。この選挙の都合で、12月の定例議会は11月6日から21日まで行われました。国の税制改正で延滞金の見直し（引き下げ）に伴い、いすみ市税、国保税、介護保険税など条例の改正のほか、一般会計の補正では台風26号による災害復旧事業や、介護保険、障害者福祉など当初予算の見込みより利用者が増加したことによる補正、小中学校の修繕費など二億九九五〇万円の増額補正が行われました。一般質問は6人が行い、私は、①高校統廃合問題、②市民との協働について、（個人市民税の5%程度を「市民予算枠事業」として町づくりに活用することや市民の声を行政に反映させるためにインターネットを活用した市政モニター制度の実施）③福祉の充実について市長の姿勢をただしました。

する、子どもの遊び場作りや地域運動会や盆踊りなど、世代を超えて交流できるイベントの開催や通学路整備や高齢者の見守り、地域の美化や空き家対策、排水や防犯灯などなど、予算化し実現できることが保障されていければ、課題は次々と出てくるのではないか。いさみ市の個人市民税は24

の検討状況はどうか実施する考えはないか。

(総務課長答弁) 市民から預かった税を、地域でより有効に役立てるために、個人市民税の5%を「市民予算枠」として、地域の思いをかなえるための事業を小学校単位で協議し、活用する事業は市民との協働のまちづくりとして有効な方法のひとつであり、先進地の事例を参考にして研究していきたい。

2014年元旦